



志木市立宗岡中学校  
令和五年度  
5月号

宗中生からのさわやかな風を感じた四月が過ぎ  
もう季節は初夏をむかえます。四月は新しい環境で  
自分が思っているよりも、元気張ってきただかもしません。  
自分なりのリラックス法を見つけて、体調を整えましょう。



① 睡眠が大切です。

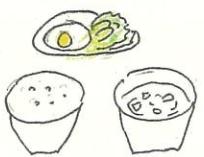
夜遅くまでスマホや  
ゲームをしていませんか?



昼、学校で勉強や運動を  
した体。夜はしっかり休めましょう。  
お風呂にゆっくり入るのもGood!!  
美肌にも良い!

② 朝ごはんをしっかり食べよう!

夜寝ている間も、使われている  
エネルギー。



朝起きた時には、体の  
エネルギータンクは空です。  
しっかり食べて栄養を補給  
しましょう。

③ 体を動かかそう!

育ちざかりの中学生。  
こつこつときた体は  
君だけの宝物。



体が疲れると自然と夜には  
眠くなります。  
良いサイクルをつけて、  
体調を整えよう。

リラックス法のご紹介… それは呼吸法…

明鏡止水の呼吸・壹・型

大きく吸った息を(=酸素)を、体の  
すすみまで行き渡らせるイメージを  
持て行う。地球を二周半する長さの  
毛細血管に行き渡らせよう。  
できる。今すぐできる。

とにく頭の中を空っぽに!  
大きく息を吸い、ゆっくり吐く。  
いつでも…どこでも何回でもできる。  
座ったままでも、立っていても、寝たままでも  
できる。今すぐできる。

日の光を浴びながら、行います。  
日光は体の皮膚にあるビタミンDの前の  
物質を、ビタミンDに変える働きがある。  
ビタミンDにはカルシウムの吸收を促進させた  
ある。十五分と二十分で良い様です。

こんな「お茶っぽ道中」と言った。  
庶民はこの行列が通り過ぎるまでは、待たなくては  
ならない。粗相があつてはならないと恐れて  
家の戸をひさんと閉めて、何があつても外へは  
出ない方が良い。そんなお茶にまつわる歌です。

令和は五月二日が八十八夜。立春から数えて  
八十八日目。暦の上では、この日から夏。

農業を始める日安となる日です。

今年は五月二日が八十八夜。立春から数えて  
八十八日目。暦の上では、この日から夏。

江戸時代、京都から江戸幕府へ  
献上されたのが、高級な宇治茶。  
お茶っぽに入った茶葉を  
家来達が行列をなして運んだ。  
これを「お茶っぽ道中」と言つた。

庶民はこの行列が通り過ぎるまでは、待たなくては  
ならない。粗相があつてはならないと恐れて  
家の戸をひさんと閉めて、何があつても外へは  
出ない方が良い。そんなお茶にまつわる歌です。

江戸時代、京都から江戸幕府へ  
献上されたのが、高級な宇治茶。  
お茶っぽに入った茶葉を  
家来達が行列をなして運んだ。  
これを「お茶っぽ道中」と言つた。

ネコがうあの  
炊きごはん

木挽米斗	6人分 分量	かつおのタレ
精白米	… 3合分	三温糖 … 大2
水	… 7.1~1.2倍	本みりん … 大1
新しょうが	… 1片(せんかく)	清酒 … 大1/2
{		こい口しょうゆ … 大1
かつお	… 角切り 180g	新しょうが … 1片(いぎり汁) (いぎり汁)
清酒	… 大1/2	ごま … 適量
しょうゆ	… 小1	
片栗粉	… 適量	
油	… 適量 (揚げ油)	

① 新しょうがを細くせんかくにして、  
米ごはんと一緒に炊きます。

② かつおは、下口味をして、かたくり米分を  
つけて、揚げます。

③ タレを火にかけて、沸とうさせます。

④ タレとかつおを合わせて、  
ごはんと混ぜ合わせたら、  
できあがりです!!

